

「令和6年度道ぎょれん会秋季取引先懇談会・懇親会」 Jブルークレジットによるカーボン・オフセットの取組について

北海道漁業協同組合連合会（本所：北海道札幌市、代表理事長：阿部国雄、以下北海道ぎょれん）は、生物多様性の保全と持続可能な海づくりを目指し、Jブルークレジットの活用により、お取引様との懇談会・懇親会（以下道ぎょれん会 運営者・参加者4会場合計360名で推算 8月26日東北地区、27日東京地区、28日大阪地区、29日九州地区にて開催）によって排出されたCO2を全量オフセットいたします。

道ぎょれん会開催による環境負荷を把握、開示し、削減努力を行うとともに、環境を守っていくことが海を生業とする我々の使命です。これからも、皆さまとともに持続可能な海づくりをすすめてまいります。 ※台風10号の発生により大阪地区並びに九州地区は開催中止となりました

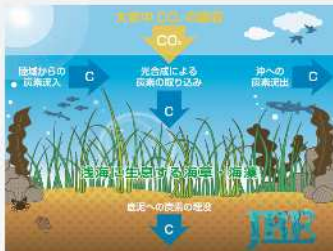
「令和6年度道ぎょれん会秋季取引先懇談会・懇親会」 Jブルークレジット®によるカーボン・オフセットの取組について

北海道ぎょれんは、生物多様性の保全と持続可能な海づくりを目指し、Jブルークレジット®によるカーボン・オフセットを実施しました。

Jブルークレジット®とは

大気中の二酸化炭素が海に吸収され、海底や水中生物などに貯蔵された炭素「ブルーカーボン」をジャパンブルーエコノミー技術研究組合が認証・発行・管理する独自のカーボン・クレジットです。

日本各地において、漁業者をはじめとする多くのプロジェクトからクレジットが創出されています。



コンブ養殖による藻場の創出・保全活動



コンブを活用したBC事業～日本のだし文化を守る取り組み～ 人工リーフにおける藻場づくりと漁業振興

クレジット活用による海への貢献

- 創出者の新たな資金源の確保・持続可能な漁業活動
- クレジット活用による海洋環境改善活動の支援・気候変動対策への貢献
- 生物多様性の保護



カーボン・オフセットについて

道ぎょれん会は、取引先懇談会・懇親会開催によるCO2排出量を、Jブルークレジット®でカーボン・オフセットすることにより、CO2を間接的に削減し、海洋環境改善活動を支援します。



各会場ごとのCO2排出状況

道ぎょれん会秋季取引先懇談会・懇親会の4会場すべてのCO2排出量は、約29t-CO2、参加者一人当たりになると約80kg-CO2となりました。

| 会場名 | 開催規模 | CO2排出量 (t-CO2) |
|------|------|----------------|
| 東京会場 | 190 | 13.70 |
| 大阪会場 | 50 | 5.37 |
| 東北会場 | 70 | 4.23 |
| 九州会場 | 50 | 5.53 |



CO2排出量内訳について

開催による排出量内訳は会場設営及び運営によるものが約51%、航空機を含む移動によるものが約37%となっています。

| 排出源 | CO2排出量 (kg-CO2) |
|---------------|-----------------|
| 1. 運営者・参加者の移動 | 10,568.91 |
| 内訳 | |
| 航空機移動 | 8,769.87 |
| 自動車移動 | 651.53 |
| 鉄道移動 | 1,147.51 |
| 2. 会場の電力使用 | 453.80 |
| 3. 運営者・参加者の宿泊 | 2,491.05 |
| 4. 会場の上水道使用 | 2.97 |
| 5. 紙(配布資料)の使用 | 89.92 |
| 6. 廃棄物処理 | 400.05 |
| 内訳 | |
| 紙(資料) | 16.96 |
| 食物残渣 | 59.19 |
| 廃プラスチック | 323.90 |
| 7. 会場設営および運営 | 14,818.29 |
| 合計 | 28,824.99 |

※出席者・参加者360名で推算

CO2排出状況



取り組みへの思い

道ぎょれん会開催による環境負荷を把握、開示し、削減努力を行うとともに、環境を守っていくことが海を生業とする我々の使命です。これからも、皆さまとともに、持続可能な海づくりを進めてまいります。



持続可能な海を次世代へ。北海道ぎょれんは、SDGsの目標達成を支援しています。

◆ 本件に関するお問い合わせ先
北海道漁業協同組合連合会 総務企画部 (担当：小笠原)
TEL 011-281-8560 (平日9:00 ~ 16:30)